

## 取材ご案内

立命館アジア太平洋大学

報道機関 各位

2015年12月4日

APU リリース 2015-64

# 大学による地域を活かした国際協力事業 南米地域から研修生を受け入れ

立命館アジア太平洋大学(以下 APU)は、独立行政法人・国際協力機構(JICA)の委託を受け、今回南米8カ国から国家・地方公務員14名を受け入れます。  
大分県ゆかりの一村一品運動で成功した県内の数々の現場等を訪問し、実際に大分の地域振興・地域行政を学びます。

## <スケジュール>

【研修名】平成27年度南米地域「地域振興(一村一品運動)」

【期間】2015年12月7日(月)~12月18日(金) 計10日間

【参加者】アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、エクアドル、パラグアイ、ペルー、  
ベネズエラ 省庁・地方自治体職員 14名

【言語】日本語(研修生向けにスペイン語の通訳が入ります)

【講師】三好皓一(アジア太平洋学部教授)

岡部有美子(Institute for Community Design 事務局長)

【場所】別府市、日田市大山町、佐伯市

【主な研修内容】

- 1) オンパク体験 だんご汁作り体験《別府・柳地区》
- 2) ひびきの郷、小切畑グリーンツーリズム研究会、水辺の郷おおやま等にて視察講義《日田市大山町》
- 3) 蒲江の海の幸体験《佐伯市》
- 4) コミュニティ・キャパシティ・ディベロップメント講義・グループ討議《APU》

**※全日程での取材が可能です。事前に APU 広報(0977-78-1114)までご連絡ください。**

### <JICA 研修員受入事業>

APUでは、独立行政法人・国際協力機構(JICA)から委託を受け2006年から開始。アフリカ、アジア、南米の町長や行政官を対象に、毎年100名前後の研修生を受け入れています。研修では都市と地方の開発格差、開発途上国の貧困削減に焦点を当て、行政、民間、地域住民が一体となって地域の力を高められるよう、その推進役となるリーダーの育成を目指しています。

研修期間中は、県内の現場を訪問しケーススタディー、オンパク体験など多彩なプログラムを行います。その後、研修で学んだ実践モデルを自国でどう活かすか討議を行いながら、独自のプランを考えていきます。

【本発表資料のお問い合わせ先】 学長室(広報)担当:加藤・宮腰

Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 Fax:0977-78-1113 URL: <http://www.apu.ac.jp>

住所:〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1